

あさか訪問通信



認知症について



R2、9月号

介護が始まるきっかけの1つとしてあやられるのが認知症。
認識したり、記憶したり、考えたり、判断する力が障害を受け、
社会生活に支障をきたすようになった状態をいいます。



誰にでも共通して現れる症状は、脳の神経細胞が壊れることによって起きる症状で、**記憶障害・失行・失認・失語・見当識障害・判断力・実行機能の障害**といったものが**中核症状**といえます。一方、周囲とかわりなげら起きるのが、**幻覚・妄想・暴力・徘徊**などの**精神症状**や**行動障害**といったものが**周辺症状**といえます。



老化と認知症の違い

	老化	認知症
原因	加齢による物忘れ	認知機能の障害
記憶	体験の一部を忘れる	体験そのものを忘れる
時間や場所	見当がつかく	見当がつかない
自覚	忘れた自覚がある	自覚ない
症状の進行	進行はない	著しく進行することもあり
生活への影響	大きな支障はない	支障が生じる

アルツハイマー型

神経をつかさどる海馬周辺から脳が左右対称にゆっくりと侵されていきます。脳が委縮し、**記憶障害**がもっとも早くあらわれます。現在、認知症患者数の半数以上を占めるのが**アルツハイマー病**です。

脳血管障害型

脳出血や脳梗塞で、**脳の血管が詰まったり、破れたりすること**が原因で起きます。障害を受けた部分の脳の働きが悪くなる為、記憶などに関係する部分が、障害を受けると認知症になります。**高血圧や糖尿病**などの発作の繰り返しで悪化する恐れがありますので、**生活習慣病**に注意が必要です！！

レビー小体型

脳の神経細胞にレビー小体という**異常なたんぱく質が蓄積**します。パーキンソン病のように手足が震えたり、動作がゆったりになるなど、**筋肉の硬化**がみられるのが特徴です。また、幻視をいだきやすいことがあやられます。



自分ができないことが少しずつ増え、不安をかかえています。
認知症を理解し、周りのサポートが重要です。